

2018.9

Vol.3

尼中Times

Contents

- ◆Drip Ship Retrieve とは
- ◆【特集】よくわかるシリーズ
よくわかる股関節の疾患
新任医師紹介
- ◆町の健康相談フェア
- ◆乳腺外来・ピンクリボン
- ◆各イベント報告
- ◆ひびき・ローランド・えがお
- ◆尼中健康講座・健康フェア



編集: 尼崎中央病院 広報委員会

Drip Ship Retrieve

当院の救急車が新しくなり、
脳卒中の急性期治療にお役に立てるように
今後も頑張っています。

Drip Ship Retrieve とは

副院長 兼 脳神経外科部長
松本 強

【特集】よくわかる股関節の疾患

副院長 兼 整形外科部長
兼 股関節センター長
大園 健二

ドリップ°

シップ°

リトリブ°

Drip Ship Retrieve

とは

副院長 兼 脳神経外科部長 松本 強

迅速な対応で変わる 脳梗塞の治療

脳卒中は重度要介護の原因を占める最も多い病気です。なかでも脳卒中の**75%**が脳梗塞です。年齢とともに血管がもろくなっていき、心房細動という不整脈も起こりやすくなっているために脳梗塞にかかりやすくなってきます。

以前は大きな脳梗塞は「治らない」「治せない」病気でしたが、急速な医療の進歩により、「治る」「治せる」ようになってきました。

脳卒中を疑ったら、出来るだけ早期に治療を受けて適切な診断が必要です。特に、血管がつまる脳梗塞は出来るだけ脳の血流を早く回復させることが極めて重要です。2005年にrt-PA療法（1時間の点滴で詰まった血管を溶かす治療）が行われはじめて脳梗塞の治療は一変しました。しかし、大事な太い血管（主幹動脈）に詰まった血栓はこの点滴ではなかなか溶けなくて、残念ながら有効性は5~20%くらいと報告されています。

血管内治療と さらなる可能性

そこで登場したのが血管内治療（血栓回収療法）です。これは、rt-PA療法の無効例や適応外の患者に6時間以内に脳の血管にカテーテルを挿入して詰まった血栓を取り除く手術です。この方法は賛否両論がありましたが、2015年に国際的な大規模研究により、rt-PA療法単独の治療より良好な結果が得られることが明らかになり科学的に証明されました。これによりこの治療法が強く勧められるようになり、国内でも急速に拡がりつつあります。さらに、今年になり発症後6~16時間でも条

件がそろえばこの血栓回収療法の有効性が報告されました。ますます血管内治療の重要性がまわってきています。ただ、血栓回収療法は現状では血管内治療学会専門医を有する病院でしか施行はできず、加えて24時間いつでも実施できる病院は非常に限られています。

大学病院との連携で より多くの患者さんへ

注目を浴びている治療法としてDrip（rt-PA点滴）—Ship（患者さんの搬送）—Retrive（カテーテル治療による血栓摘出）があります。

当院は地域の急性期脳卒中を24時間積極的に受け入れています。搬入後はMRI撮影を行い正確な診断後、rt-PA療法の適応患者には迅速に薬剤の投与を行います。

そして血栓回収療法の適応となる患者は兵庫医科大学病院脳神経外科と画像転送装置などを駆使して密な連携をとり、直ちに当院救急車を用いて搬送しています。今回紹介したこのような血栓回収療法は標準治療として確立しつつあります。

できるだけ多くの患者さんがこの治療を受けられるようにスタッフ一同鋭意努力してまいります。

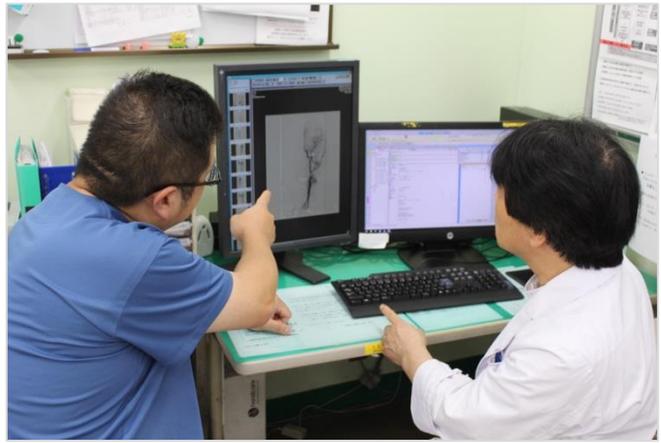
尼崎中央病院としての これから

最後に、当院の理念である「地域に根ざした住民のための医療」をモットーに、24時間断らない医療と先進的医療の両者を実践できる診療体制を築き、患者さんが適切で最良の医療を受けられるように努めてまいります。さらなるご支援ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

1) Drip (点滴)

まず搬入施設でrt-PA

搬入後はMRI撮影を行い正確な診断後、rt-PA療法の適応患者には迅速に薬剤の投与を行います。



2) Ship (転送)

重症例・主幹動脈は転送

血栓回収療法の適応となる患者は兵庫医科大学病院脳神経外科と画像転送装置（むこねっと）などを駆使して密な連携をとり、直ちに当院救急車を用いて搬送しています。



8月に新しくなった救急車

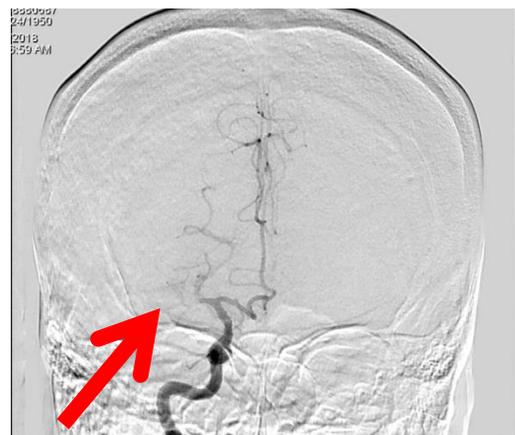


当院の搬送スタッフ

3) Retrieve (血管内)

脳血管内治療専門医により血栓摘出

rt-PA療法の無効例や適応外の患者に6時間以内に脳の血管にカテーテルを挿入して詰まった血栓を取り除く手術です。転送先の兵庫医科大学病院にて迅速に血管内治療が行われます。



治療前: 矢印の部分からの血流が止まっている状態



治療後: 血栓が回収され血流が確認できる。



詰まっていた血栓

脳梗塞の治療目的は救命から社会復帰へ変革しつつあります。

よくわかる股関節の疾患

副院長 兼 整形外科部長
兼 股関節センター長
大園 健二

【正常な股関節の仕組みと機能】

股関節は二足歩行のための身体の要です。骨盤の丸いくぼみ（寛骨臼）に大腿骨先端の球形部分（大腿骨頭：だいたいこつとう）が深くはまりこんで形成されています。大腿骨頭の下はくびれていて大腿骨頸部（だいたいこつけいぶ）といいます。大腿骨頭の表面は関節軟骨で覆われ滑らかに動きます。球形関節なので屈曲・伸展・外転・内転・外旋・内旋と各方向に良く動くのが特徴です。歩くだけでも股関節には体重の3倍の圧力がかかると言われています。正常なレントゲンでは骨頭は骨盤の骨で完全に覆われ幅5mm程度の軟骨層が確認できます。

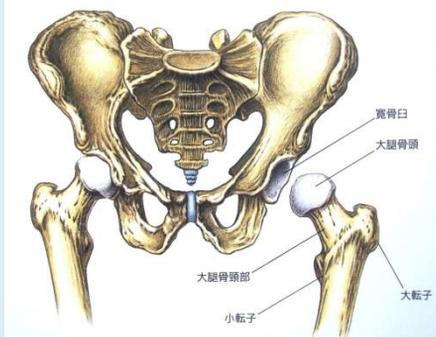


図1 股関節の構造



図2 正常股関節のレントゲン
大腿骨頭の端までしっかり屋根がかぶる

骨盤の寛骨臼というくぼみに丸い大腿骨頭がはまる

大腿骨頸部骨折(だいたいこつけいぶこっせつ):

70-80才以上の高齢者では骨粗鬆症があるため転倒して骨盤周辺を打撲しただけで大腿骨頸部骨折（だいたいこつけいぶこっせつ）を生じやすくなります。大腿骨頸部内側骨折と外側骨折に分類されます。内側骨折では血液の流れが遮断されるので骨頭壊死が生じやすく、転位が少ない場合は骨接合術を行います。転位が大きいときには人工骨頭挿入術が一般的です。いっぽう外側骨折では血流は温存されるので骨接合術を行います。



図3 大腿骨頸部内側骨折

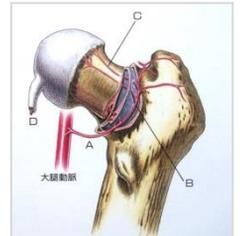


図4 大腿骨頭の血行



図5 左人工骨頭挿入術



図6 大腿骨頸部外側骨折



図7 ガンマネイルによる骨接合術

変形性股関節症(へんけいせいこかんせつしょう): OAといいます

最も多い股関節疾患です。小児期の各種疾患：先天性股関節脱臼や寛骨臼形成不全（股関節の屋根のかぶりが悪い）、ペルテス病（小児の大腿骨頭壊死）、大腿骨頭すべり症（成長軟骨の障害）などの既往があり加齢とともに変形が進行し、40歳～70歳の中高齢で股関節の軟骨が磨耗して変形性股関節症に進展し股関節痛、可動域制限、歩行障害をひきおこし、日常生活動作に支障が出るので人工股関節の適応となります。また高齢化にともなう変形性股関節症や急速に股関節がつぶれる急速破壊型股関節症という病気も増加しています。



図8 変形性股関節症



図9 正常骨頭



図10 変形性股関節症

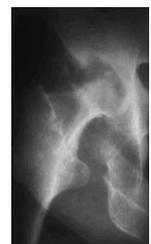


図11急速破壊型股関節症

大腿骨頭壊死症(だいたいこつとうえししょう):

美空ひばりさんと坂口憲二さんが罹患されてニュースになりました。大腿骨頭の血流が悪くなって大腿骨頭の組織が壊死を起こして圧潰変形してくる病気で難病に指定されています。様々な膠原病や自己免疫性疾患でステロイド治療を行った方や、アルコール大量摂取などが原因とされます。比較的若壮年層、20才代から50才代に多いのが特徴です。若くて初期の場合は骨きり術、症状が強い場合には人工股関節の適応となります。



図12 骨頭の圧潰

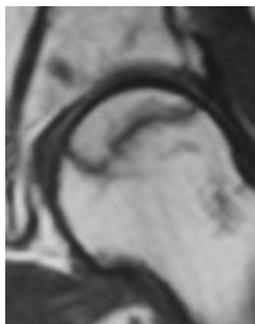


図13 MRIにてBand像



図14 骨壊死病理標本

人工股関節置換術:

股関節の変形が強くなり痛みが悪化して可動域制限や脚長差、歩行障害が出現してくると人工股関節置換術の適応です。インプラントを骨内に埋め込んで固定しますが現在ではセメントを用いない「セメントレス固定」が主流です。また個々の症例に応じて性能の優れた各種のセメントレス人工股関節を使い分けて患者さんのニーズに合わせるようにしています。手術手技の進歩や人工股関節の進歩(耐久性や可動域の性能も飛躍的に向上)により20年以上もつ確率は95%以上が期待できるようになりました。また手術の切開も10-12cm程度のいわゆるMIS手技が標準ですし、手術時間も1時間程度で済み、自己輸血で対応できる上、3-4週の入院リハビリで済みます。若くて元気な方であれば2週で退院可能なケースもあります。

図15 様々な人工股関節機種



図16 56歳女性 右変形性股関節症
右股関節は軟骨層が無くなり痛みが強歩行



図17 右人工股関節置換術後(セントピラー型)
痛みが取れ杖無しでスムーズに歩行可能

新任医師紹介



整形外科医
中矢 亮太

今年の7月から整形外科に着任致しました、中矢亮太と申します。阪大大学院では人工股関節分野の研究を行っておりました。皆様のお役に立てるよう精進して参りますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

診察日 金曜日午前

8月25日（土）あまがさきキューズモールにて「第11回町の健康相談フェア」が開催されました。



今回も測定コーナーでは、血圧・血管の硬さ、握力、骨密度、体脂肪率を測定させていただき、お昼の講演では当院乳腺外科医平岡医師より「乳がん 手遅れにならないようにするには」をお話させていただきました。



自己検診

乳房 しこり 陥凹、えくぼ 皮膚の変化	乳頭、乳輪 分泌物 ただれ	わきの下 しこり、腫れ
------------------------------	---------------------	----------------

最近の女性のがん罹患率の1位となっている乳がん。

○好発年齢は40～60歳台であり、乳がんの約90%が乳管から発生。

○遠隔転移が無ければ比較的予後が良好であること。

○早期に発見するためには、触診による自己検診・病院などで行なわれている乳がん検診受診が大切であること。

○乳がんの治療法には、局所療法(手術・放射線療法)と全身療法(薬物療法)があり、がんのステージによって治療法が選択されること。

等々・・・乳がんに関するいろいろなお話をして頂きました。



乳がん治療 ステージ別の方針

● stage 0 (非浸潤癌)	局所療法のみ
● stage I～Ⅲ (浸潤癌、転移なし)	局所療法+薬物療法
● stage IV (浸潤癌、転移あり)	薬物療法 (+局所療法)



受付開始早々の行列！

暑さが厳しい中、最終的に185名の方にご参加いただきありがとうございました。

この健康フェアは年2回の開催を予定しております。

次回も11月17日(土)を予定しておりますので、是非ご参加ください。

乳腺外来のご案内

町の健康相談フェアで 講演を行った 平岡先生と木原先生が 担当します。



乳腺外来は乳がんの早期発見・治療を目的とした乳腺専門外来です。
迅速かつ質の高い検査・診断を実施しております。

【診療内容】

- ・乳がんの診察（症状がある場合）
※症状がない場合は健診センターで対応
- ・乳腺良性疾患
（乳腺症、良性腫瘍等）の精査、治療
- ・乳がんの精査
（マンモグラフィ、超音波検査、生検等）
- ・乳がんの薬物治療
（ホルモン療法、化学療法）

【外来診察日】

受付時間

8:00～11:00

事前予約可

TEL06-6499-3045

	月	火	水	木	金
午前	—	木原	平岡	—	木原 平岡

ピンクリボン運動

尼崎中央病院は ピンクリボン運動へ参加します。

1980年代にアメリカで始まった
「ピンクリボン運動」

乳がんについての正しい知識を広め、乳がん
検診の受診を推進する活動が行なわれています。

日本では、10月第3日曜日をジャパン・マンモグ
ラフィーサンデーと設定し、子育て・介護・仕事な
どで多忙な女性の為に、参加医療機関でマンモ
グラフィーなどの検査を受けることができます。

事前予約制 TEL06-6499-3045

※詳細に関してはJ.M.Sのホームページをご参照ください。

2018年 10月21日 日は…

J.M.S

多忙な平日を
お返しに女性の皆様へ

日曜日に
乳がん検査を
受けられる日です。

七夕

「エコ」七夕って何??



7月に入ってから当院1F待合にて七夕の笹を設置しました。使用した飾りや短冊は不要になった包装紙などで、その名も「エコ」七夕と称して行っております。

残念ながら今年は西日本豪雨と重なってしまいましたが、たくさんの願いを短冊につけていただきました。



夏休みこども病院見学会

平成30年7月24日 夏休みこども病院見学会を 開催しました。

今年も恒例のこども病院見学会が開催され、参加者のこどもさんには、病院スタッフ同様にユニフォームに着替えて、女の子はナースキャップもつけて、参加してもらいました。



リハビリ室・薬局・レントゲン室を見学して、当院の救急車にも乗りました。体験学習では、赤ちゃん(模型ですが…)をお風呂に入れたり、スタッフの腕に包帯を巻いたり、心肺蘇生の方法やAEDの使い方を習ったり、車椅子に乗ったり、松葉杖で歩いてみたり…様々なことを体験できたかなと思います。参加したこども達の歓声や楽しそうな笑顔を見て、スタッフも楽しい時間を過ごすことができました。

救急の日イベントが行われました。

救急医療の理解と知識を深めてもらう事を目的に厚生労働省は9月9日を救急の日と定め、本年度は9月9日～15日が救急週間となっています。

その一環として、尼崎東消防署の救急隊の方々にご協力を頂き、当院も毎年イベントを開催して近隣の多くの方々に参加して頂きました。

本イベントも今回で7回目の開催となりました。まず、毎年恒例の「1日救急隊長」の任命式を行いました。



今年は、小学1年生の山根漣君でした。お名前を呼ばれると大きな声で「ハイ」とお返事をされて「頑張ります」と元気に答えてくれました。



今年のイベントのテーマは「あなたのチャレンジが命をつなぐ」と題しまして、第1部では、「昼食後に餅を食べていてのどに詰まった」との設定で東救急隊に救急の電話を受けるところから心臓マッサージや点滴の処置をして病院への搬送までを実際にシミュレーションしていただきました。また、その後に予防救急についてもお話頂きました。



第2部では、当院の救急活動の現状と実際について総合診療科部長兼救急担当医の庄司先生にご講演頂きました。

その中で尼崎市は計9台の救急車で、昨年は26,173件の救急搬送を行っており、本年は異常な猛暑の中、高齢者の熱中症の方が多く搬送件数は30,000件／年を越える予想であるとの事でした。



当院の救急搬送件数も2,000件／年を超え、やはり75歳以上の高齢者の方の搬送が多いとお話でした。講演後看護師と一緒に心臓マッサージとAEDの体験をしていただき、スタッフも学びの多いイベントとなりました。

ご協力いただきました東救急隊の皆様、またご参加頂いた近隣の皆様ありがとうございました。



中央会リハビリデイサービスひびき♪ オープンして半年が経ちました！！



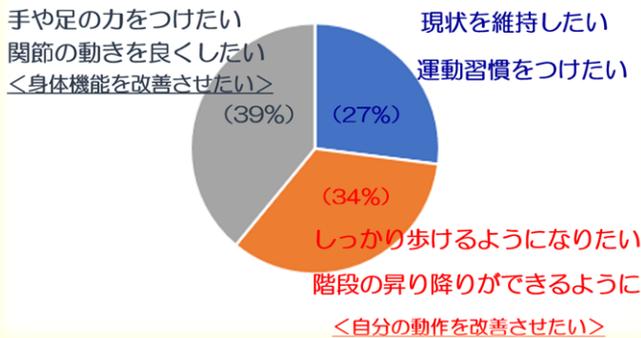
利用定員の**8割**程度が予約で埋まっています！



少しでも自分の身体を良くしたい。家族に迷惑をかけないように、少しでも自分で出来ることを増やしたい。そんな想いを胸に、皆さんリハビリに励まれています。

100名程の方が登録されています！
(8/15時点)

どんな方が「ひびき」
に通ってるの？



中央会リハビリデイサービスひびきでは、最新のマシンを使用した筋力強化やグループ体操など、誰でも共通した基礎体力向上プログラムに加え、**リハビリ専門職**が身体の状態を評価し、その方に合わせた**個別性の高い**プログラムの立案も行っています！

リハビリデイサービスひびき ~ご利用までの流れ~

担当のケアマネジャー様へ
利用したい旨を相談します。

担当ケアマネジャー様より
当施設へ見学・体験利用
の依頼をいただきます。

生活相談員がご自宅に訪問し、
身体の状態などを伺い、サー
ビスに関する契約を行います。

**ご利用開始
となります。**

ご質問等ございましたら、いつでもお電話ください。お問合せお待ちしております。

中央会リハビリデイサービスひびき 管理者:前杉祐樹 ☎06-4950-0178

認知症対応型通所介護センター えがお

当事業所では認知症対応型のデイサービスとして認知症の介護に対する不安や悩みの相談を承っています。

年中無休、短時間の利用から夕食付きの長時間の利用、無料体験(送迎・入浴・食事つき)など幅広く柔軟な対応をさせて頂くことができます。

また、脳のリハビリくもん学習療法(希望者対象)の導入によって認知症の予防・軽減にも力を入れています。



尼崎市潮江3丁目1-8
☎06-4960-7775



11ある各事業所との連携も密に取っており安心してご利用いただけます。

ショートステイローランド

短期入所生活介護(ショートステイ)とは、短期間の施設入所で、排泄や入浴、食事などの日常生活のサービスを受け、心身の機能維持並びにご利用者のご家族の身体的及び精神的負担の軽減を図ります。

一定期間、介護から解放されるご家族にとっても、ご自分の時間が持て、介護疲れを癒すことができ、大きな意義があります。

また、ご家族のご病気や冠婚葬祭、出張などで一時的に在宅介護が困難な時にも、ショートステイサービスをご利用ください。



<施設外観>



<施設内観>

お申込は下記連絡先まで！お気軽にご連絡下さい♪

尼崎市潮江3丁目1-8
☎06-6495-2811

尼中健康講座 & 健康フェアのお知らせ

● 尼中健康講座

平成30年10月27日(土) 平成30年12月1日(土)

14:00~15:30

14:00~15:30

・ 介護について

・ 家族を守るための

インフルエンザ対策

講師：ローランド

長田 圭司 田内 智明 先生

講師：内科

兵頭 英出夫 先生

● 町の健康相談フェア part VII

平成30年11月17日(土)開催予定

in あまがさきキューズモール3階 レンガの広場

★午前の部 10:00~11:30(受付 11:00まで)

★午後の部 12:30~15:00(受付 14:30まで)

身長、体重、体脂肪率、血圧、握力、骨密度、その他

講演会 「めまいと不整脈について」

循環器科 奥村 隆啓 先生 11:30~12:00

「食事と健康～塩分の取り方を中心に～」

管理栄養士 12:00~12:15

※お問合せは 尼崎中央病院 地域医療室 直通 06-6499-3047

日本医療機能評価機構認定病院

社会医療法人 中央会



尼崎中央病院

● 認定医教育施設、教育関連施設

日本内科学会 日本血液学会 日本消化器病学会
日本消化器内視鏡学会 日本循環器学会
日本高血圧学会 日本糖尿病学会
日本外科学会 日本整形外科学会
日本麻酔科学会 日本眼科学会 日本大腸肛門学会

● 関連施設

- ◇ 介護老人保健施設 ローランド
- ◇ 介護老人保健施設 なにわローランド
- ◇ 短期入所施設 ショートステイローランド
- ◇ 認知症対応型通所介護センター えがお
- ◇ 訪問看護ステーション
- ◇ 中央会リハビリデイサービスひびき
- ◇ ホームヘルパーステーション ローランド
- ◇ ケアプランセンター ローランド
- ◇ ケアプランセンター なにわローランド
- ◇ 尼崎市「小田北」地域包括支援センター



〒661-0976 尼崎市潮江1丁目12番1号

代表

TEL 06-6499-3045 FAX 06-6497-3196

地域医療室直通

TEL 06-6499-3047 FAX 06-6497-3296

<http://www.chuoukai.or.jp>